

## 事業年度

1月1日～12月31日

## 期末配当金受領株主確定日

12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

6月30日

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1  
お問合せ先：0120-232-711

## 上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

## 公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内



<https://www.convum.co.jp>

当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **妙徳**  
**Myotoku Ltd.**

〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号  
TEL 03-3759-1491 (代表)



株式会社 **妙徳**  
**Myotoku Ltd.**

証券コード TSE：6265

# 第70期 事業報告書

2020年1月1日～2020年12月31日



人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により  
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第70期（2020年1月1日～2020年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。



真空吸着機器のパイオニアメーカーとして  
魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、  
継続的な企業成長を目指してまいります。

代表取締役社長 伊勢 幸右

Q1 第70期の業績についてご説明ください。

第70期の連結売上高については、2,183百万円（前年同期比95.2%）となりました。国内市場においては、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安から設備投資の縮小がありました。このような環境下、製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販とパソコン需要の拡大に伴う、半導体及び電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。また、環境に配慮した電気駆動の製品もラインナップに加えました。この結果、売上高は1,585百万円（前年同期比98.5%）となりました。

海外については、韓国市場では、一般産業機器の自動化装置向けに現地生産によるセカンドブランド

製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。半導体製造装置業界や液晶関連設備業界に対しては独自製品の投入や現地メーカーへのOEM製品投入を行いました。世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による大手企業の設備投資縮小の影響を受けました。この結果、売上高は334百万円（前年同期比82.4%）となりました。中国市場では、新型コロナウイルス感染症の対策により経済活動は回復基調にあり、半導体関連装置、ロボット関連製品の需要は回復基調となりました。しかしながら、米中対立問題の懸念もあり、経済の先行き不安感が払拭できない状況で推移いたしました。この結果、売上高は143百万円（前年同期比104.4%）となりました。その他では、タイ国子会社においては自動化設備及びロボット関連設備への拡販活動を行いました。タイ国周辺諸国では、半導体

生産設備への拡販活動を推進するとともに、液晶関連設備業界への製品投入も行いました。タイ国内では食品業界及び自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新型コロナウイルス感染症拡大が顕著となり営業活動自粛の影響を受ける中、既存販売店への拡販活動を行

いました。この結果、売上高は120百万円（前年同期比84.8%）となりました。

利益面については、連結経常利益は357百万円（前年同期比155.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は244百万円（前年同期比165.7%）となりました。

当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドの開発と環境に配慮した電動化製品の開発による将来を見据えた取り組みを継続してまいります。売上拡大のためには海外現地法人を活用したグローバルな展開が必要であり、海外売上高比率50%を目標とし、海外地域ごとに売上拡大に向けた取り組みを推し進めてまいります。

製造面においては、製造の効率化、省人化に向けた設備投資を積極的に行い、今期は岩手事業所に吸着パッド製造及び商品センタの新工場棟の増築を行い、製造、出荷業務の効率化、製造工程の自動化装置の導入を行います。また、社内基幹システムの入れ替えを行い、製造効率の更なる改善に取り組めます。

このような方針のもと、第70期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり20円00銭、期末配当金を1株あたり20円00銭（年間40円00銭）とさせていただくことといたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月1日より商号をコンバム株式会社へ変更し、更なるグローバルブランドの確立への取り組みに邁進してまいります。株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

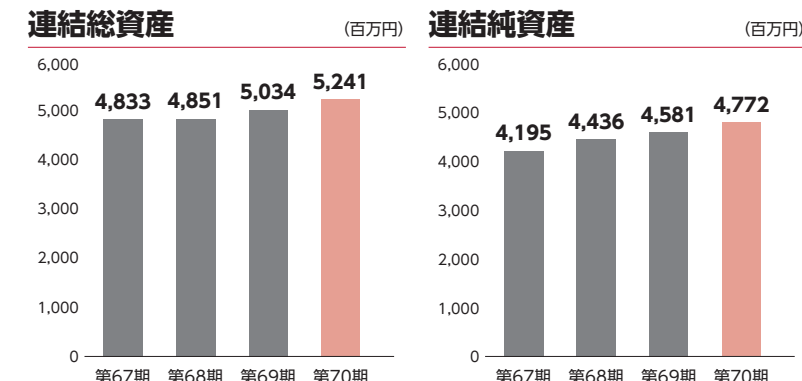
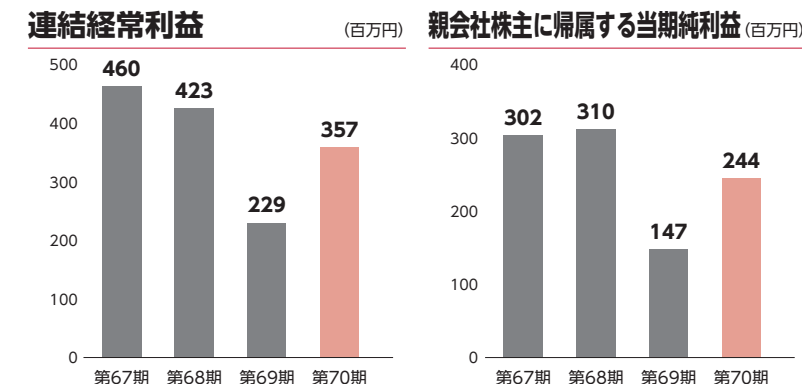
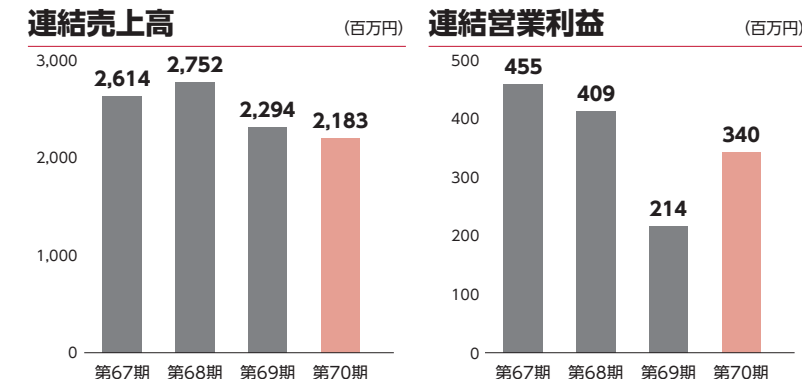
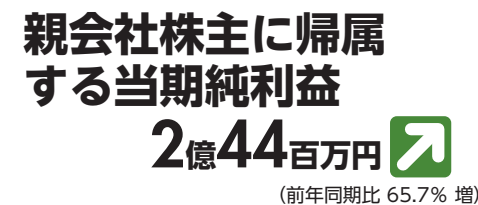
**Q2** 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2021年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,200百万円、連結経常利益288百万円、親会社株主に帰属する当期純利益189百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

営業、開発面においては、真空機器メーカーとして、真空吸着機器に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。また、生産効率を考慮した自動化推進の流れによる、各種ファクトリーオートメーションへのロボット需要が増えることが予想されており、

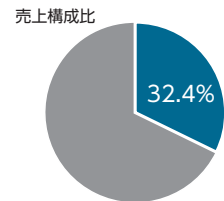
**Q3** 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

妙徳グループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。そのためにはメーカーとしての根幹である、新製品開発と市場投入を積極的に推し進めていきます。株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。



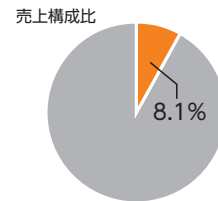
(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)を第69期の期首から適用しており、第68期については、遡及適用後の数値を記載しております。

**コンバム** 売上高 7億7百万円



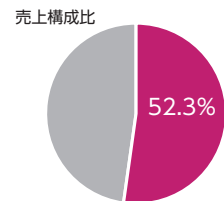
世界的な設備投資需要の減少により、半導体製造装置をはじめ各種自動機での新規需要の減少と生産減によるメンテナンス需要の減少があり、当期の連結売上高は707百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は32.4%となり、前年同期比0.1ポイント低下いたしました。

**圧力センサ** 売上高 1億76百万円



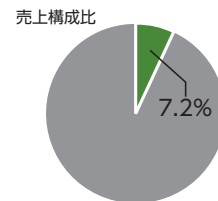
半導体製造装置向けの需要が減少いたしましたでしたが徐々に回復の兆しがありました。この結果、当期の連結売上高は176百万円となりました。また、売上高構成比は8.1%となり、前年同期比0.4ポイント上昇いたしました。

**吸着パッド** 売上高 11億42百万円



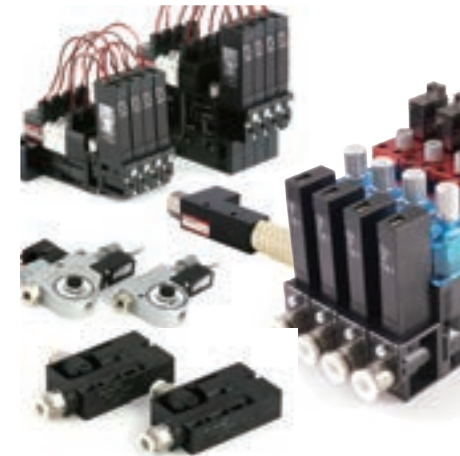
設備投資需要の減少と設備稼働率の悪化の影響を受け、メンテナンス需要が低迷いたしました。ロボット関連業界に対しての新製品投入は拡大しましたが、当期の連結売上高は1,142百万円となりました。売上高構成比は52.3%となり、前年同期比2.3ポイント上昇いたしました。

**FA機器その他** 売上高 1億57百万円



新規設備需要の減少と各種自動機の設備稼働率低下を受け、真空関連機器及び真空ポンプ等の一般設備機器は、前年同期比で売上高は減少いたしました。この結果、当期の連結売上高は157百万円となりました。売上高構成比は7.2%となり、前年同期比2.6ポイント低下いたしました。

**CONVUM®**



CONVUM®は圧縮空気を利用して真空(負圧)を発生させる真空発生機器です。圧縮空気をノズルから放出(エジェクト)させることから「エジェクタ」又は「エジェクタポンプ」と呼ばれます。

**About CONVUM®**

コンバムとはコンプレッサからの圧縮空気でバキューム(真空)を発生させること、バキュームをコントロールできる装置(コントロールバキューム)をイメージして創り出した造語です。

CONVUM®は当社の登録商標です。

**PAD**

パッドはコンバム等の真空発生機器より得られる真空(負圧)を利用してワーク(吸着物)を吸着し、持ち上げる製品です。「パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指)とも言えます。



**SENSOR**



気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理など様々な用途に使用されています。

**Robot-hand**



各種ロボットに取付けるロボットハンドです。各ロボットメーカーの各種ロボットへ取付け可能なフランジを多数用意しているため、お客様での設計が不要で、すぐにお使いいただくことが可能です。

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

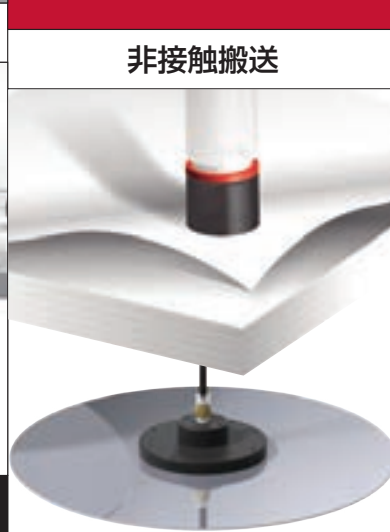


取付・プレス

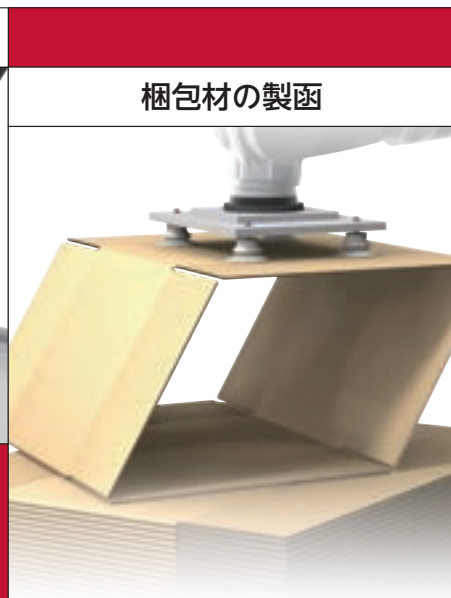


食品の吸着搬送

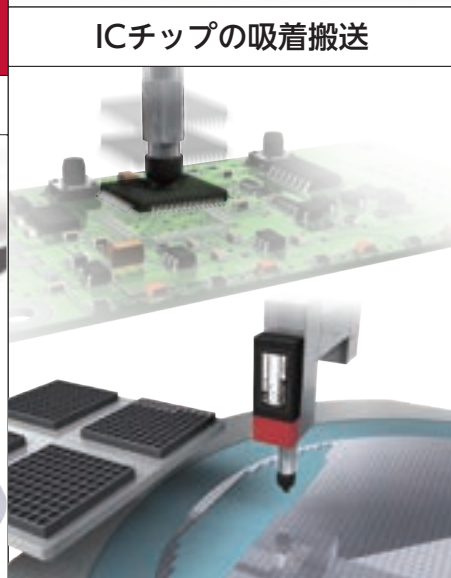
妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍。生産の自動化と品質の向上に貢献しています。



非接触搬送



梱包材の製函



ICチップの吸着搬送

## トピックス 株式会社妙徳からコンバム株式会社へ

当社は、2022年1月1日をもって商号を「株式会社妙徳」から「コンバム株式会社」に変更することといたしました。

主力製品である「エジェクタ式真空発生器」は、発売以来、長年にわたり「コンバム（CONVUM）」という名称で皆さまにご愛顧いただいております。この度、創業70周年を機に、業界内でご認知いただいている名称を商号とすることにより、コーポレートブランドの確立と、業界の枠を超えてより一層ご認知いただける企業を目指してまいります。



※発売当時の「コンバム」ラインナップ



※環境に配慮した、小型ポンプ搭載タイプのロボットハンド



※1970年代 展示会の様子  
真空発生器「コンバム」と吸着パッド発売当初製造のオートメーション化をPR



※最近の展示会の様子  
一般自動機からロボットの時代へ

## トピックス 岩手事業所に新工場棟を増築

当社は、主力製品であります、吸着パッド製造工場及び商品センターの新工場棟を2021年12月完成予定で建設いたします。主力工場棟に新工場を増築し吸着パッドゴムの成形から仕上げ、出荷までのラインの改善構築を実施することで生産効率の向上及び生産能力の増強を行います。新工場では、従来手作業で行っていた吸着パッドゴム製造の工程を自動化するラインを設け、新規の真空吸着パッドゴム成形用油圧プレス機、射出成型用成型機、プレス成形後の取り出しロボットなどの各種自動化設備も導入します。

また、商品センター（出荷工程）のライン移設も行い、製造から出荷までの工程の改善、効率化を行います。



※新工場棟イメージ図

(2020年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第69期 2019年12月31日現在	第70期 2020年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,743,094	3,002,856
固定資産	2,290,943	2,238,550
資産合計	5,034,038	5,241,407
<b>負債の部</b>		
流動負債	300,585	310,216
固定負債	151,955	158,349
負債合計	452,541	468,565
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,404,217	4,614,073
その他の包括利益累計額	147,091	131,202
新株予約権	1,810	-
非支配株主持分	28,377	27,564
純資産合計	4,581,497	4,772,841
負債及び純資産合計	5,034,038	5,241,407

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第69期 2019年1月1日～ 2019年12月31日	第70期 2020年1月1日～ 2020年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,820	508,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,866	△210,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,172	△35,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,058	△2,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	416,722	260,625
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,207	1,628,930
現金及び現金同等物の期末残高	1,628,930	1,889,555

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第69期 2019年1月1日～ 2019年12月31日	第70期 2020年1月1日～ 2020年12月31日
売上高	2,294,628	2,183,479
売上総利益	1,234,553	1,227,739
販売費及び一般管理費	1,020,367	887,512
営業利益	214,186	340,226
経常利益	229,606	357,728
税金等調整前当期純利益	222,970	356,396
当期純利益	151,542	245,596
非支配株主に帰属する当期純利益	3,692	665
親会社株主に帰属する当期純利益	147,849	244,931

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第69期 2019年1月1日～ 2019年12月31日	第70期 2020年1月1日～ 2020年12月31日
当期純利益	151,542	245,596
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	65,024	△15,959
為替換算調整勘定	△19,718	△1,406
その他の包括利益合計	45,305	△17,366
包括利益	196,848	228,230
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	191,551	229,042
非支配株主に係る包括利益	5,297	△812

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	122名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	東陽監査法人

役員の状況 (2021年3月24日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	大内 崇 *
取締役	杉山 達郎 *
常勤監査役	富田 康博
監査役	友田 勉 *
監査役	牧村 博一 *

\*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 100,416株)	1,000名 (前期末比 117名増)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢興産株式会社	282,760	18.17
伊勢 すが子	126,020	8.10
伊勢 幸治	82,410	5.29
いずも産業株式会社	52,000	3.34
光通信株式会社	45,100	2.90
妙徳従業員持株会	41,750	2.68
岡部 由枝	37,700	2.42
MTAsia株式会社	36,000	2.31
神谷 信一	30,700	1.97
株式会社日伝	28,000	1.80

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

株価チャート

